



第 8 回 繫離船作業に係る安全問題検討会 議事概要

日 時: 令和元年 10 月 16 日(水) 16 時～18 時

場 所: 国土交通省港湾局 10F 会議室

議事 1 繫離船作業の実態について(説明: 日本繫離船協会)

- ・国内の港における入出港作業別の係留索破断件数や直近 10 年間の係留索破断件数の推移等が報告された。また、繫離船作業中における係留索破断の事例等について動画を用いた説明が行われた。
- ・リーフレット配布による繫離船作業の安全に関する啓蒙活動など、協会の取り組みについても報告された。

議事 2 繫離船作業に係る安全対策について(説明: 国土交通省港湾局)

- ・平成30年度に「港湾の施設の技術基準・同解説」を一部改訂したことを踏まえ、各地方整備局等管内における繫離船作業に配慮した港湾施設の施工事例等について紹介された。

議事 3 国際海事機関(IMO)における係船設備に関する安全対策の動向について

(説明: 国土交通省海事局)

- ・IMO の船舶設計・建造小委員会において審議された海上人命安全条約(SOLAS 条約)の改正案、関連するガイドライン案等の内容や、今後の審議予定が報告された。
- ・上記小委員会で我が国から「安全な係船作業の手引き」を紹介したことが報告された。

議事 4 係船作業に関する外国船舶への安全啓蒙活動について(説明: 国土交通省海事局)

- ・平成 27 年度から全国規模で実施している外国船舶監督官による外国船舶への安全啓蒙活動について、平成 29 年度及び平成 30 年度の活動において確認された外国船舶の状況が報告された。
- ・検討会参加者からは、特に外国籍船について、船員の繫離船作業のスキルの低さや、船長の作業監督不足といった現状の問題点に関する報告があった。

議事 5 大型係船曲柱の小型化の検討状況(説明: 国土交通省国土技術政策総合研究所)

- ・大型係船曲柱に係る現状とその課題及び大型係船曲柱の小型化の現在の検討状況について報告された。
- ・既往設計事例等の調査結果により、同等の牽引力を有したまま、大型係船曲柱の上部形状を小型化できる可能性があり、今後、基礎構造も含め全体構造を検討していくことが報告された。
- ・検討会参加者からは、コンテナバースは大型船だけでなく、様々な大きさの船舶が着岸するため、作業員が利用しやすい小型化の係船曲柱を希望する等のコメントがあった。